

## 松川町リニア中央新幹線建設工事対策委員会〔第30回〕会議録

1. 附属機関等の会議の名称 松川町リニア中央新幹線建設工事対策委員会〔第30回〕

2. 開催日時 令和6年7月9日（火） 19時00分から20時10分まで

3. 開催場所 松川町役場 2階 大会議室

4. 出席者氏名

【松川町リニア中央新幹線建設工事対策委員】※敬称略

大島浩、田村健一、宮下明、福澤友安、井澤弘幸、塩澤澄夫、坂本勇治、塩沢貴浩、  
中平文夫、寺沢秀文、松下敏章、高坂龍夫、細田勉、片桐瑞穂、北沢公彦、  
代田文明、熊谷誠、吉澤裕、松浦善文、宮下勉、知久克志

【JR東海】

名古屋建設部 杉浦担当部長

中央新幹線長野工事事務所 小池所長、水上副所長、黒澤係長、佐藤主席

// 大鹿分室 藤原分室長、水野主任、齋藤主任

【長野県】

飯田建設事務所 リニア整備推進事務所 大島次長兼調整課長、井原課長補佐

【役場】

北沢町長、黒澤副町長、中村建設水道リニア対策課長、大蔵主査

5. 議題

(1) 副委員長の選任について

(2) 令和6年度リニア発生土活用箇所（前河原）について（町より）

(3) 発生土運搬について

JR東海より

①大鹿村内リニア工事進捗状況および工程の見直しについて

②発生土運搬車両の運行状況

③その他

(4) 質疑応答

6. 非公開の理由（会議を非公開とした場合）

—

7. 傍聴人の数

3人

8. 会議資料の名称

- ・会議次第（町作成）
- ・別冊資料（JR東海作成）

9. 会議の概要

（1）開会

（2）あいさつ

（3）会議事項

上記のとおり

（4）その他

移動コンテナ局測定結果について

（5）閉会

10. 会議録

（事務局）

時間となりましたので進めさせていただきます。私は本日の進行を務めさせていただきます建設水道リニア対策課の中村と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、これより松川町リニア中央新幹線建設工事対策委員会第30回を開会いたします。

それでは2番の挨拶ということで、まず中平委員長お願いいたします。

（委員長）

改めましてこんばんは。非常にお暑いなか、またお仕事が終わってからのご参集をいただきまして大変ありがとうございます。

夏至が過ぎてこの頃は梅雨がないと災害的な猛暑ということで、今日あたりも宮崎県で38℃というようなニュースも出ております。大変暑くて、これが9月10月ぐらいまで続くのかなというような気がしておりますけど、暦の上ではもうあと1ヶ月もすれば立秋ということで、秋が来る形になっております。

いずれにしても、非常に暑い日がこのところ続いておりますので、どうぞ皆さんもお体の方、お気を付けいただきたいと思います。また暑いですから今日はラフな格好で会議を臨んでいただければと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

今日は30回目ということで開催させていただきました。ご案内の通りの会議事項でありますので、ぜひ皆様方の活発なご意見をいただければと思っておりますので、よろ

しくお願いします。いろいろお願いしまして挨拶に代えさせていただきました。今日はよろしくお願いします。

(事務局)

ありがとうございました。続きまして松川町より、北沢町長お願いいたします。

(町長)

改めまして、こんばんは。今委員長の挨拶にもあった通り、第30回をこの対策委員会も迎えます。当初より様々な課題がありましたが、この委員会を通じて解決をしてきた経過がございます。

今後ともいろいろあるかと思えますけれどもご協力のほどお願いできればと思っております。本日は仕事の後のお疲れのところをお集まりいただきまして大変にありがとうございます。

今日はリニア中央新幹線建設促進長野県協議会の総会が飯田合同庁舎で行われまして、阿部知事をはじめ JR 東海からは副社長様も見えていただいてお話をいただきました。報道等でも皆様ご存知の通り、2027年というのは厳しいというなかで開業が10年先になってしまうという報道も出ております。

また静岡県知事も代わりまして、ボーリング調査等にいよいよ進んでいくという前向きな状況になっていることも確かであります。今日は杉浦担当部長様をはじめまして小池所長様、それから JR 東海の皆様、そして長野県からは大島課長様をはじめましてお越しいただいております。

現在の状況と、それから町の方からも必要であることをぜひ皆様の方からもお声を上げていただきまして、この対策委員会でしっかりと課題解決をしながら進めてまいりたいと思っておりますので、よろしくお申し上げまして挨拶といたします。

本日はどうぞよろしくお願いたします。

(事務局)

続きまして JR 東海より、中央新幹線建設部名古屋建設部杉浦担当部長よりご挨拶をお願いいたします。

(JR 東海)

皆様こんばんは。JR 東海中央新幹線で長野県の担当部長を6月21日から担当しております杉浦禎信です。

本日はご多忙のところ、またお仕事終わりお疲れのなか、この対策委員会において我々に説明の時間を与えていただきまして誠にありがとうございます。また皆様におかれましては、日頃から中央新幹線の建設事業にご理解ご協力いただき、心からお礼を申

上げます。

さて、先ほど町長の方からもお話があった、昨今リニアに関する様々なニュースが飛び交っていて、リニア中央新幹線の早期開業を期待していただいている皆様には大変ご心配をおかけしている状況であると認識しております。

ここで少しお時間をいただいて、私の方からもう少し丁寧なご説明をさせていただければと考えています。

まず開業時期について、今年の3月に開催された第2回リニア中央新幹線静岡工区モニタリング会議にて、JR東海の方から3つ説明させていただいています。

1つ目は、南アルプストンネル静岡工区は、2027年の開業を目指して2017年の11月に工事の契約を締結したこと。2つ目は、そのトンネル掘削工事に着手できないまま、契約締結から既に6年半が経過していること。そして3つ目は、不確実性を伴うトンネル工事の中でも極めて難易度が高い南アルプストンネル静岡工区の工事の遅れが品川-名古屋間の開業時期の遅れに直結していること、この3つを改めて説明し、これらの内容を受けてリニアの開業が2034年度以降にずれ込むという報道がなされたものでございます。

我々といたしましては、静岡工区の1日も早い着手に向け引き続き、静岡県知事をはじめとする関係自治体の皆様、それから関係地域の皆様のご理解ご協力を得られるようにコミュニケーションをしっかりと取りながら真摯に進めているところでございます。

一方で、長野県内の状況について、昨年12月に品川-名古屋間の建設に必要な認可というものが揃って全ての工事を実施することが可能になったことから、先ほど申し上げた静岡工区の遅れの状況も踏まえて、品川-名古屋間の各工区の進捗を把握し、確認しつつ、全体にわたって工事の進め方を検討しております。その検討を行うなかで、例えば今後契約を締結することとなる、飯田市内の座光寺高架橋他新設工事の工事については、工期を約70ヶ月と設定し、工事の完了は2031年の3月になる見込みでございます。

また、後ほど詳しくご説明いたしますが、大鹿村の工事についても、南アルプストンネル長野工区では蛇紋岩区間の、伊那山地トンネル青木川工区では中央構造線区間の地山が想定以上に悪く、掘削速度が上がらないこと、また今後掘削を進めていく地山についても、当初の想定よりも悪いと想定されていること、それから鏡吹付けといった安全確保のための工程が追加になっていること、さらに復工や路盤の計画について昨今の人材不足やコンクリートの資材供給能力を踏まえた計画としたことから、南アルプストンネル長野工区は2030年の夏頃まで、伊那山地トンネル青木川工区については2029年の夏頃まで、土木工事を行う予定になっております。

松川町の皆様には、工事用車両の通行時期が延びるというご迷惑をおかけすることになります。また中央新幹線開業のため、様々なご協力いただきました皆様におかれましては、工期の延伸、また開業の遅れというのは、皆様の大きな期待を裏切る形になった

ということで誠に申し訳ないと考えております。我々といたしましては、静岡県を含めもちろんこの松川町においても地域の皆様としっかりコミュニケーションをとった上で、リニアの建設事業を進めてまいりたいと考えています。

引き続きご理解とご協力を賜ればというふうに思っております。長くなりましたが本日も丁寧な説明を心がけます。どうぞよろしくお願いいたします。

(事務局)

ありがとうございました。続きまして、長野県より、飯田建設事務所リニア整備推進事務所調整課大島次長よりご挨拶をお願いいたします。

(長野県)

皆様こんばんは。ただいまご紹介をいただきました飯田建設事務所リニア整備推進事務所調整課長大島でございます。本日お集まりの委員の皆様におかれましては、日頃より、長野県で進めております建設行政につきまして多大なるご協力を賜りまして誠にありがとうございます。

またリニア中央新幹線の推進につきまして、それぞれのお立場の中で様々ご協力をいただいておりますこと、私どもの方からも御礼を申し上げるところでございます。この後 JR 東海様の方から、工程の関係について詳細な説明等ございます。

皆様の疑問に思っている点、ご不安の点等をお出しただいて、また今後の事業推進にご理解とご協力を賜ればと思っております。よろしくお願いいたします。

(事務局)

ありがとうございました。これより新しく変わりました、委員のご紹介をさせていただきたいと思っております。お手元のホチキス留めの次第資料 2 ページ目をご覧ください、こちらが今年度、本委員会の委員を構成される方達になります。これにつきましては、この資料の 6 ページ以降にあります、この対策委員会の設置要綱に基づきまして、第 3 条の組織(1)から(6)に当たる皆様になります。特に区会ですとか、他の関係機関の役職でこの 4 月に改選されました皆様につきましては、また改めて委員としてお願いしたいと思っておりますし、これまで委員であられた方につきましても引き続きお世話になります、よろしくお願いいたしますと思っております。

続きましてここからは次第の 3 番の会議事項に入りますけれども、先ほどの設置要綱の第 5 条に、会議は委員長が議長となることから、中平委員長の進行でお願いいたします。

(委員長)

はいそれではこれより会議事項に入っていきます。まず最初に(1)の副

委員長の選出についてであります。

副委員長につきましては、松川町にはが 8 つの区があり、今回 6 つの区で新しく区長さんになられた方々がいらっしゃいます。先だって区長会を開かれまして、区長会長について、上新井区長さんが任命されていらっしゃいます。

そのようなことでありますので、本対策委員会も副委員長を区会長にお願いするというのが今までの恒例になっておりますので、上新井区長の田村さんに副委員長をお願いしようと思いますけれど、ご異議ございませんでしょうか？（異議なしの声）

はい、ありがとうございます。それでは異議なしということでもありますので、この委員会の副委員長を田村上新井区長にお願いしたいと思っておりますので、席の方をお願いしたいと思っております。

それでは新しく副委員長になられた田村さんにご挨拶をお願いしたいと思っております。

（副委員長）

皆様こんばんは。今ご紹介いただきましたように、松川町の区長会長ということで副委員長を仰せつかりました上新井区長の田村健一と申します。どうぞよろしくお願ひいたします。

（委員長）

はい。それではよろしくお願ひいたします。続きまして、（2）令和 6 年度リニア発生土活用箇所について町より説明をお願ひいたします。

事務局より資料を踏まえ説明

（委員長）

ありがとうございました。それでは関連がありますので（3）の発生土運搬については、JR 東海様よりご説明をお願いします。

JR 東海より資料に基づき説明

（委員長）

はいありがとうございました。それでは（2）、（3）ともに質疑を受けたいと思っております。ご質問のある方は挙手してマイクををお持ちしますのでお願ひしたいと思っております。

（委員）

今回初めて参加をさせていただきましたのでお伺ひします。町なのか、JR 東海さん

なんか分かりませんが、今日私は参加させていただいたので会議の様子は分かりますが、例えば、町民の皆さんへこういった概要や会議の情報はどういう形で伝わっていくのか、教えていただければと思います。

(委員長)

はい、中村課長お願いします。

(事務局)

必要に応じてという形になりますけれども、広報やホームページ等での発信になってくるかなと思います。ただ私もこの4月から参ったのですが、そういったホームページの更新を充実できる形で今後展開できればと思っております。

(委員長)

はい。ありがとうございました。今回は今までとはちょっと違って工事の見直し等々が今回初めて皆様のところいきちっとJR東海様からご説明いただきました。

このような形で新聞等々、また他のところでもこのような工事の遅れについて質疑等々がありましたけど、今回初めて松川町のこの会議でJR東海様からいきちっと説明していただきました。そのような形で工事の方も進捗していくと考えております。

そんなことで何か皆様の方からご質問等がありましたらぜひお願いしたいと思えます。よろしいですか。今回新しく委員になった方が12名おりますので、またおいおい慣れていただければと思っております。

ちょっと1つJR東海様にご提案と言いますかお願いをさせていただきたいんですけど、ご存知のように今回新しく委員に約半分の方がなられて、大鹿工区の状況等々も報道等で見るといしか把握できないので、実際に、例えば運搬車両の管理体制について、飯田ケーブルテレビで撮影したものをチャンネルYOUでも流していただいて、我々もこんなに素晴らしいことやってるんだなと理解していますが、そうは言ってもこの会議でいろいろ議論して、またいろいろ進捗していく上で、ぜひその現場を少し視察させていただいて理解を深めれば、もっといろいろ議論が出てくるのではないかなと思っております。行政の町長の方にもお願いしてあり、そういうような機会をぜひ設けていただければありがたいなということで思っておりますけど、町長の方で何かありましたらお願いします。

(町長)

今委員長からもありましたけれども、先日JRの皆さんと話をするなかで、やはり現場を知るといのは地元にとっても大事なことでありますし、委員会の委員の皆さんにとりましても、今実際のところどうなっているか見ておく必要があるのではないかなと

お話をさせていただいておりますので、また調整いただいて視察ができるような形が整えばありがたいなと思っております。ご検討のほどよろしくをお願いしたいと思います。

（委員長）

そんなようなことですがいかがでしょうか。

（JR 東海）

長野工事事務所の水上でございます。ご意見を承りました。工事は今大鹿村内でトンネル工事、発生土置場の工事それから今の先ほど申し上げいただいたダンプの積み込みと多種にわたります。全てを一緒にご覧いただくのはなかなか難しいと思いますから安全をしっかり担保した上で、ご覧いただけるところを今後松川町さんと調整させていただきたいと思っております。

（委員長）

大変ご無理なお願いですけどぜひ実現させていただければと思っております。委員の皆様にもお願いしたいのですが、こういうことでご協力 JR 東海様のご協力をいただきながら視察をしたいと思っております。もちろん土曜、日曜日はやっておりません。と同時に昼間のことになりますのでご都合のつかない方もいらっしゃるかと思いますけれど、平日に何とか組み込んでいただいて、やらせていただければと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

はい。今日は他にご質問がないようですので、それでは会議事項につきましては、これで終了したいと思いますのでよろしくお願いいたします。

それでは、マイクを事務局の方にお渡ししますのでよろしくお願いいたします。

（事務局）

はい、中平委員長司会については大変お世話になりました。

それでは次第 4 番のその他移動コンテナ局の測定結果について、事務局より説明いたします。

事務局より移動コンテナ局の測定結果について説明

（事務局）

事務局からはその他のまた会議全般に関して、今日用意させていただいた事項については説明させていただきましたけども出席された皆様から全般を通じまして、ご発言等ありましたら、この場でお願いしたいと思います。

(副委員長)

以上をもちまして第30回松川町リニア中央新幹線建設工事対策委員会を閉会いたします。本日はありがとうございました。

(以上)